

2024年9月11日

報道関係各位

ファーマエッセンシアジャパン株式会社

## 毎年9月の第2木曜日は

### 日本骨髄増殖性腫瘍の日（Japan MPN Day）です

— 早期診断、早期治療の実現を患者さんと医療従事者とともに —

台湾発のグローバル・バイオフーマ、PharmaEssentia Corporation（本社：台湾台北、創業者兼最高経営責任者：林 國鐘）の日本法人であるファーマエッセンシアジャパン株式会社（本社：東京、代表取締役社長：米津克也、以下ファーマエッセンシアジャパン）は9月12日木曜日の日本骨髄増殖性腫瘍の日に向け、真性多血症の患者さんの早期発見、診断、治療が可能になるよう様々な活動を展開いたします。

日本骨髄増殖性腫瘍の日（Japan MPN Day）は、骨髄増殖性腫瘍（MPN）の認知度を高め、患者さんにより多くの情報が届くことを目的とし制定されました。骨髄増殖性腫瘍とは、造血幹細胞に後天的に遺伝子変異が生じることにより、血液細胞が過剰に造られてしまう病気の総称です。遺伝子変異の種類によって、白血球、赤血球あるいは血小板のうち、どのタイプが主体となって増えるかで異なった疾患となります。

MPNの疾患の中でも、特に赤血球が増えている疾患を真性多血症と呼び、90%以上の患者さんで *JAK2* という遺伝子に変異が見られます。

真性多血症は血液中の細胞が増えることで血液が濃くなり、血液の流れが悪くなるため、頭痛やめまいなどの症状がみられるほか、脳梗塞や心筋梗塞のような血栓症が起こる危険性が高まります。

また、一部の患者さんでは、長い経過の後に、骨髄線維症や急性白血病といった別の病気へと進行することがあります。長い間病気と適切に付き合っていく必要が生じますが、最初は自覚症状があまりない患者さんも多いため、血液検査で異常があっても病院への受診が遅れたり、受診をしなかったりすることもあるため、血栓症・塞栓症が起きてから初めて病気と診断されることもあります。

ファーマエッセンシアジャパンは疾患の発見・治療が遅れることを少しでも減らすため、Japan MPN Day に向けて下記の取り組みを開始し、一人でも多くの方に真性多血症を知っていただき、疑わしい症状・血液検査結果が認められた場合は適切な医療機関を受診いただけるよう取り組んでまいります。

### 【Japan MPN-Day に向けての主な取り組み】

- 株式会社イシュランと共同で、イシュラン「赤血球（ヘモグロビン・ヘマトクリット）が高いといわれたら見るサイト」を展開 [https://mpn.ishuran.com/rbc\\_checks](https://mpn.ishuran.com/rbc_checks)
  - 本サイトでは健康診断などで、血液検査数値に異常があった方が自分の検査結果を入力し、異常値が認められると判断した場合は医療機関への受診を促します。患者さんの早期受診につなげることを後押しします
- 株式会社エクスメディオと共同で医師間(DtoD)臨床支援アプリ「ヒポクラ」内に「血（ち）ミル」を展開、9月12日サービス開始予定
  - 「血ミル」では非専門医が、来院した患者さんの血液検査に異常値や気になる所見が見られた際に、血液内科専門医に相談することが出来ます。別の病気で医療機関を受診した患者さんでも早期に専門医の受診を促すことが可能となります  
<https://hpcr.jp/v/consult/form/chimiru>  
※本サービスは医師向けの臨床診断相談窓口であり、ご利用にはヒポクラへの会員登録が必要となります
- 新聞・インターネットへの疾患啓発広告掲載
  - より多くの方にご自身の血液検査の結果に興味を持っていただくことを目的に疾患啓発広告を掲載予定（9月）

## 毎年9月の第2木曜日は 日本骨髄増殖性腫瘍の日 (Japan MPN Day) です。

骨髄増殖性腫瘍 (MPN) とは、血液の種である造血幹細胞に後天的に遺伝子変異が生じることにより、血液細胞が過剰に造られてしまう病気です。

MPNの一つに、真性多血症 (真性赤血球増加症) があります。真性多血症は造血幹細胞にJAK2と呼ばれる遺伝子に変異が生じることで、血液に含まれる細胞 (主に赤血球) が異常に増えてしまう病気です。赤血球が過剰に生産されることにより、血液がどろどろになることにより脳梗塞や心筋梗塞の隠れたリスクになります。ゆっくり進行するため、すぐに命にかかわる病気ではありませんが、別の病気に移行することもあるため、定期的な診察を受け、治療を行っていく必要があります。

**真性多血症は、日本では年間10万人あたり2人程度に発症するとの報告があります。50~60歳代で診断されることが多く、男性にやや多くみられます。**

※1. 日本骨髄増殖性腫瘍学会 2021年6月13日発表

真性多血症について詳しくは「真性多血症ナビゲータ」で検索、詳細をご確認ください。

血液がん患者さんのための情報サイト  
**真性多血症 ナビゲータ**

骨髄

血液細胞が過剰に産生される

赤血球

血小板

白血球

遺伝子変異のある造血幹細胞

真性多血症は、頭痛、耳鳴り、だるさ、お風呂上りの皮膚のかゆみ、集中力の低下、寝汗など、ごくありふれた症状が多いため、ご自身で気づきにくい病気です。

是非この日を機会に自分の血液検査と下のチェックリストを比べてみて下さい! 不安があれば医師に相談してみてくださいいかがでしょうか?

**男性の場合**

- ヘモグロビン : **16.5g/dL**以上
- ヘマトクリット : **49%**以上
- 赤血球数 : **570×10<sup>4</sup>/μL**以上

**女性の場合**

- ヘモグロビン : **16.0g/dL**以上
- ヘマトクリット : **48%**以上
- 赤血球数 : **500×10<sup>4</sup>/μL**以上

※ヘモグロビン、ヘマトクリットの値は1000mlの真性多血症診断基準値、赤血球の値は1000mlの真性多血症診断基準値の50%未満を指します。  
※上記数値は目安にすぎず、これを超える方が真性多血症であるとは限りません。また、下図の真性多血症でないに限り、真性多血症の診断は他の血液検査の結果も総合して判断する必要があります。※詳細はご検索ください。

**PharmaEssentia** ファーマエッセンシアジャパン株式会社 東京都港区元赤坂1-3-13 赤坂センタービル2階

新聞広告原稿

ファーマエッセンシアジャパン株式会社は『永遠に患者志向であり続けること』をゴールに掲げ2017年2月に設立されました。代表取締役社長 米津克也は次のように述べています。

「毎年9月第二木曜日は日本骨髄増殖性腫瘍の日です。ファーマエッセンシアジャパンが日本で初めて承認を得たロペグインターフェロンアルファー2bは骨髄増殖性腫瘍の一つである真性多血症 (既存治療が効果不十分又は不適当な場合に限る) を適応症として2023年6月に発売されました。一人でも多くの患者さんに、一日でも早くより良い治療選択肢を提供し、Better Lives (よりよい生活)をお届けできるよう今後も活動するとともに、この活動を通じて、真性多血症を少しでも多くの方に知っていただき、早期発見・早期治療につながられるよう、取り組んでまいります。」

**ファーマエッセンシアジャパン株式会社について**

ファーマエッセンシアジャパン株式会社は、台湾台北に本社を置く PharmaEssentia Corporation の日本法人として2017年に設立されました。昨今の急速な創薬技術の発展は、多くの画期的な新規治療薬を生み出しましたが、医療現場では“真の治療ゴール”を満たしていない疾患領域が未だ存在しています。ファーマエッセンシアジャパンが目指すのは、これまで見過ごされてきた“真の治療ゴール”の達成です。バイオアベイラビリティや忍容性の問題により、今まで十分にそのポテンシャルを発揮できなかった治療薬を、自社のコアテクノロジーである“部位選択的モノペグ化技術”プラットフォームを応用してアンメット・メディカル・ニーズを満たすことを目指しています。日本においては、血液疾患領域に重点を置き、活動しています。

詳細については、<https://jp.pharmaessentia.com/> をご覧ください。

また真性多血症に関してはWeb サイト <https://patient.jp.pharmaessentia.com/mpn-navigator> をご覧ください。

本ニュースリリースに記載されている医薬品情報は、当社の経営情報の開示を目的とするものであり、開発中のものを含むいかなる医薬品の宣伝、広告を目的とするものではありません。

以上

### ファーマエッセンシアジャパン株式会社 会社概要

代表取締役社長： 米津 克也

所在地： 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-3-13 赤坂センタービル 12 階

電話： 03-6910-5103

FAX： 03-6910-5109

### <本件に関するお問い合わせ>

ファーマエッセンシアジャパン株式会社

コーポレートコミュニケーション部

可児 尚子 Kani, Hisako

e-mail： [hisako\\_kani@pharmaessentia.com](mailto:hisako_kani@pharmaessentia.com)

電話：080-4475-5320